3

「マーケティング」と「ブランディング」の気になる情報を毎月お届けする

DAM TIMES

医療のマーケティング・ブランディングを支援するディーエーエム(DAM)が発行するニュースレター

平素より大変お世話になっております。今月もニュースレターをお送りさせて頂きます。

マーケティングトレンド

ロゴマークって必要?

今月はロゴマークについて取り上げたいと思います。ロゴは多くのクリニックさんで持たれていると思いますが、そもそもなぜロゴを作る必要があったのでしょうか?そのロゴはきちんと管理されているでしょうか?改めて整理してご紹介します。

● ロゴの役割

ロゴマークの役割は、大きく分けると2つあると考えています。

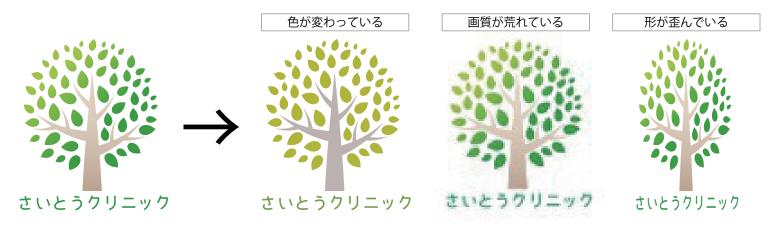
- 1. 理念や使命など、クリニックおよび院長の「想い」を伝えるため
- 2. クリニックのビジュアルに統一感を出し一定の方向付けをするため

院長先生の想いやクリニックのコンセプトが表現されていて、クリニックの印象を決める要素になるのがロゴです。このロゴは患者さんに向けたものと当たり前のように考えられていますが、<mark>院長自身やスタッフさんにも影響を与えています。</mark> このロゴの役割を図にしたものがこちらです。

	1. 理念や使命	2. ビジュアルの方向づけ	
患者さん向け (その他の関係者含む)	クリニックの医療理念やコンセプトを 患者さん (およびその他の関係者) に知ってもらう	クリニックを覚えてもらう クリニックへの信頼感を高める	
院長・スタッフ向け	モチベーションや帰属意識を高める	掲示物や広告、ユニフォーム、什器などの導入時、 どういった方向の統一感を出すか指針になる	

ロゴ、きちんと管理されていますか?

このようにロゴは重要な役割を果たしているものであり、現在の事業内容や先生の想いが反映されたものになっていると良いです。 そんな大事なロゴ、大切に扱ってほしいと思っています。雑に扱われ、きちんと管理されていないケースをしばしばみかけます。ホームページやパンフレット、院内掲示物に使用するときに、例えばこんなこと、ありませんか?



これではせっかくのロゴが台無しです。ぜひ一度見直してみましょう。ロゴのご相談もお気軽にご連絡くださいね。



マーケティング用語解説

ロングテール理論

ロングテール理論とは、ネット販売などにおいて、売れ筋の商品の売上よりも売れ筋ではない商品全体の売上の方が大きくなるという理論です。オフラインでの商品販売では売り場スペースの制約があるためロングテールは起きませんが、スペースの制約がないオンライン上では年に1個しか売れない商品も展示しておくことができるためこのような現象が起きます。このロングテール理論はホームページの戦略にも使われています。

● 質の高いアクセス数を増やすロングテール

検索エンジンでクリニックを探す場合「地域名 診療科目」という検索ワードを入力する方が多いです。このキーワードで上位に表示されれば多くのアクセス数を獲得できるため、SEO会社さんに多額の費用を支払って上位に表示させようとするクリニックさんもいらっしゃいます。しかしながら、「アクセス数が増える」ことと「患者さんが増える」ということが繋がらない場合があります。

例えば 〈福岡市中央区の薬院駅近くの内科クリニックさん〉 の場合、検索キーワードの「検索数」「上位表示の難易度(難易度が高いほど業者への費用は高い)」「来院率」の関係は以下のようになります。

	「福岡市 内科」	「薬院 内科」	「薬院駅 内科」	「薬院 白金 内科」	「薬院 内科 土曜午後」
検索数	大	中	中	/]\	小
難易度	大	中	中	小	小
来院率	/إ/	中	中	大	大

抽象的な検索キーワードの場合は検索数は多いですが来院する確率は低く、3語以上の具体的な検索キーワードの場合は検索数は少ないですが来院する可能性が高くなる傾向にあります。図にするとこんなイメージになります。



以上のことから、検索数が多いビックキーワードに広告費を投資するよりも、検索数が少なくても来院率が高いキーワード(ロングテール部分)を取りに行った方が効率が良いことがわかります。ではどうすればそういったキーワードのアクセスが増やせるのでしょうか?その鍵はホームページ内のページ数と文章量に関係してきます。クリニックのホームページでスタッフさんが日記のようなブログを書かれていたり、院長先生が病気や診療に関するコラムを書かれているのをご覧になったことがあるかと思います。これがロングテール検索対策につながっています。

このWEB戦略としてのロングテールには即効性がありません。時間をかけて地道に積み上げていくことで、中長期的に安定して質の高いアクセスが確保できていく施策になりますので、今から始めてみませんか?

すでにブログやコラムをされている先生も、これから始めてみることを検討されている先生も、効果的なやり方をお伝えしますので、お気軽にご相談ください!







